

カトリック

# 広島教区報

No. 101

カトリック  
広島司教区

発行責任者  
広報担当  
服部大介神父

「点訳版」あります。  
お問い合わせください。

広島市中区鞆町 4-42  
広島司教区内  
TEL (082) 221-6017

戦争は人間のしわざです  
〜目標はつねに平和〜

広島教区管理者 肥塚倭司神父



定例司教総会の様子、肥塚神父と  
梶山神父（イエズス会日本管区 管区長）

「われわれ」自身であるこ  
とを意識したからです。

日本カトリック司教団  
は、今年二月二十五日（ヨ  
ハネ・パウロ二世来広記念  
日）、戦後七十年メッセー  
ジ「平和を実現する人は幸  
い〜今こそ武力によらない  
平和を〜」を公表しまし  
た。

メッセージで司教団は、

「戦争放棄は、キリストの  
福音そのものからの要請で  
あり、宗教者としてのち  
を尊重する立場からの切な  
る願いであり、人類全体に  
とつての手放すことのでき  
ない理想なのです」と訴え  
ています。

国際紛争を解決する手段  
として武力を行使すること  
を全面的に拒否すること  
は、「福音そのもの」から  
導き出されることであり、

宗教者の理想を生きるこ  
なものと言っています。

また、今年、七十年前  
に人類最初の原子爆弾によ  
る被害を体験した広島・長  
崎の経験を記憶し、学び、  
次の世代に伝えていくこと  
が、わたしたちに重大な使  
命として課せられているこ  
とを心に刻む年です。

「広島（長崎）を考える  
ことは、核戦争を拒否する  
ことです」（ヨハネ・パウ  
ロ二世）

広島・長崎での核兵器の  
使用は、人類は自滅する可  
能性があることをはつきり  
と目に見えるかたちで教え  
てくれました。

「核戦争」が始まれば、  
戦うもの双方が確実に絶滅  
することになります。

広島・長崎、とりわけ被  
爆者の核兵器廃絶の悲願、  
「核兵器なき世界」の実現  
に向かって心をひとつにし  
て力を尽くしていきましょ  
う。

戦後70年メッセージ・コラム  
教区の動き・平和行事ご案内  
三末名司教司教叙階30周年・山岡助祭叙階式  
世界平和記念聖堂関連・予備神学校  
地区・海峡からの風・青少年・ひと粒

一面  
二〜三面  
四〜五面  
六〜七面  
八〜十面

## じゃけえのう

今号からリレーコラムがスター  
トしました。  
「じゃけえのう」とは広島弁で  
「だからね!」という意味。

司教座が空位になって、  
早いもので一年が経とうと  
しています。今思えばどう  
いう根拠で言われたのか知  
りたいですが、ある司教さ  
んから「広島次の司教は  
早く決まるでしょう」とい  
う声があったということ  
で、いったいどんな人が次  
に来るのだろうかど割と  
楽観していたように思いま  
す。▲ところが喜びの知ら  
せを待ち望みながらの待降  
節を過ぎ、さらにご復活  
祭も空位のまま過ぎてしま  
いました。そして広島教区  
としては特別な時である被  
爆七十周年の平和行事も司  
教不在のままとなりまし  
た。日本の司教団は大切な  
時としてすべての司教が参  
加しようということですが、  
その方々を迎える司教  
がないという現実の平和  
行事を迎えます。▲前司教  
が残されたことを引き継い  
で教区としての様々なこ  
とを行ってきていますが、や  
はり司教が空位ということ  
で色々な問題も出てきてい  
ます。先日教皇大使が来ら  
れて言われていた「皆さん  
の祈りが足りないので司教  
が決まらない」という普段  
ならまあそうだろうなと思  
うような言葉にも、その祈  
りをちゃんと受け止めてく  
れていないのがあなた方で  
はないのかと言いたかつ  
たほどです。▲これから  
どれくらい司教空位の  
期間を過ごすのでしょうか。  
か・・・広島にふさわし  
く、これまでの歩みを評価  
し引き継いで下さる司教を  
願って、これからも祈りを  
続けることとなります。

服部大介神父

# 教区の動き

## 平和の使徒推進本部

【二〇一五年度（第一回）  
広島司教区宣教司牧連絡会  
開催】

さる六月十四日（日）、  
二〇一五年度第一回広島司  
教区宣教司牧連絡会（以下  
、教区連絡会）が、広島カ  
トリック会館多目的ホール  
で開催された。司祭、修道  
者、信徒の二十五人が出席  
した。

昨年度からの広島教区長  
空位により、教区宣教司牧  
評議会が開催できない（教  
会法五百十三条）ため、教  
区管理者である肥塚神父、  
平和の使徒推進本部の主催  
により教区連絡会が開催さ  
れ、次のことが話し合われ  
た。

議題はまず、教区が取り  
組んでいる優先課題として  
司教座空位の状況の中、継  
続して行われる活動につい  
て、報告と意見交換が行わ  
れた。

《津和野殉教者列聖運動》  
「なぜ津和野の三十七人だ  
けなのか？」「他の教区と

の連携が不十分ではない  
か？」との疑問の声があ  
り、列聖運動の妨げになっ  
ていたが、署名運動（約  
三千人足らずの状況）も実  
施して推進してきた。長崎  
教区の理解を求めるための  
行事として開催した三月八  
日、長崎カトリックセン  
ターでのシンポジウムは、  
浦上教会ほか長崎教区の方  
に対し、良いきっかけに  
なった。

当初、前田大司教の意向  
は、今年六月開催の司教総  
会において、列聖運動を始  
める申請をバチカンに提出  
する承認を得る予定であっ  
た。そのため、広島教区と  
しては、五月開催の常任委  
員会（司教総会の議題立  
案）に書類を整えて提案し  
たが、議題として受理され  
なかった。広島教区長が空  
位であることが最大の理由  
（教区管理者の名では司教  
総会の議案として取り上げ  
られない）であった。よっ  
て、開催された司教総会  
は、現状報告のみ行った。

《召命促進》  
召命促進として具体的に  
は、前田大司教が掲げられ

た「十年間で十人の司祭叙  
階」を目指す。

予備神学校の活動とし  
て、第四回を四月二十五日  
～二十六日に、第五回を六  
月二十日～二十一日に開校  
した。今年度は更に、第六  
回を九月に、第七回を十一  
月に、第八回を来年二月に  
開校予定である。第四回で

## 平和の使徒となろう



## 平和の使徒推進本部

は、新たな地区、小教区か  
らの参加があり、少しずつ  
でも教区内に浸透している  
状況が伺え、喜びを感じて  
いる。※六ページ参照

### 《青少年育成》

大西助祭を中心に、青少  
年情報センターの活用、中  
ブロなどを通して若い世代  
の方の顔が少しずつ見えて  
きている。地区、小教区で若

い世代の方の顔が見えてこ  
ないとの懸念の声もある  
が、大西助祭の関わりを通  
して若い世代の方の活性化  
を期待したい。

### 《教区共通カテキズムの作成》

カテキズム作成のための  
専門委員会の立ち上げにつ  
いては、三つのカテキズム  
に携わっている信徒一名と  
司祭一名を各地区から選  
び、肥塚神父、服部神父を  
含む八名で構成し、七月に  
第一回の委員会を開催し、  
今後の取り組みについて話  
し合った。

### 《その他》

次の議題は、『**平和年**』  
について話し合われた。

平和行事について、今年  
は戦後七十年にあたりプロ  
グラム内容が特別なものと  
なっていることの説明があ  
った。※三ページ参照

また、平和の使徒推進本  
部から、『**「平和年」戦争  
と平和モニメント写真募  
集**』について、今春、各地  
区センターから通知されて  
いるとの報告があった。

募集期間は八月六日まで  
としているが、良い企画で

あり、宣伝如何によつては  
盛り上がる企画であるとの  
評価により、募集期間の延  
長や具体的内容について、  
引き続き、平和の使徒推進  
本部で検討することとなっ  
た。

続いて議題は、教区の  
テーマ『**家庭へのチャレン  
ジ**』の取り組みについて、  
教区全体、各地区、伯雲ブ  
ロックの報告があった。

更に議題は、『**奉獻生活  
の年**』について、各地区の  
修道女連盟（修女連）から  
の報告があった。今後、修  
女連の活動は、研修会、講  
演会を開催する予定。修女  
連としては、奉獻生活を通  
して喜びを周りの人に伝え  
ることを中心にしたいとの  
こと。

教区連絡会の後半は、諸  
連絡に続いて、世界平和記  
念聖堂保存活用委員会から  
保存活動の経緯、耐震調査  
の状況、今後の取り組みに  
ついて説明と報告があっ  
た。※六ページ参照

以上のことが話し合わ  
れ、祈りと祝福のうちに二  
時間半の教区連絡会を閉会  
した。

# 広島教区2015平和行事プログラム

われわれ  
戦争は人間のしわざです  
～目標はつねに平和～

War is the work of man.  
Peace must always be the aim.

被爆 70<sup>th</sup>  
戦後

## 8/5 水

- 13:00～14:30  
基調講演 <sup>カンフイル</sup> 姜禹一司教 (韓国・済州教区) エリザベト音大セシリアホール
- 15:00～16:30 分科会
  - ①広島被爆証言 梶山聡子さん (幟町教会) 世界平和記念聖堂
  - ②広島被爆証言 (英語) Sr.荒谷明恵 研修室1・3 (ナムユール・ノートルダム修道女会)
  - ③広島被爆証言 (韓国語) <sup>パナムジュ</sup> 朴南珠さん (観音町教会) 地下聖堂
  - ④長崎被爆証言 深堀柱さん (長崎教区・城山教会) 多目的ホール
- ⑤沖縄・高江のいまを知ろう! エリザベト音大224教室  
～平和の実現にむけて働くために～  
伊佐育子さん (那覇教区・名護教会)
- ⑥5年目の南相馬～子ども達に寄り添ってきて～  
勝治喜美子さん (仙台教区・原町教会) エリザベト音大ザビエルホール
- ⑦子どもプログラム紙芝居「夏の花」 (原民喜・原作)  
竹原陽子さん (幟町教会・紙芝居作者) マリアホール
- ⑧ユースプログラム  
「私たち若者は、どのように平和を実現していくか？」  
コーディネーター松浦悟郎司教 (名古屋教区)  
若者のイニシアティブで展開 エリザベト音大506教室
- 17:30～18:10 平和の祈り 地下聖堂
- 17:30～祈りの集い 原爆供養塔前 (平和公園内)
- 18:00～平和行進 (原爆供養塔前～本通り～世界平和記念聖堂)
- 19:00～20:15 平和のための祈りの集い 世界平和記念聖堂
- 20:30～21:30 テゼの祈り 世界平和記念聖堂
- 21:30～翌朝7:30  
世界平和を願って徹夜の祈り (リレー形式) 地下聖堂

## 8/6 木

- 6:15～ 7:15 宗教者平和の祈り (原爆供養塔前)
- 8:00～ 9:00 原爆・すべての戦争犠牲者追悼ミサ
- 9:30～11:00 ピースメッセージ
- 11:00～12:30 世界平和記念聖堂案内
- 9:30～12:00 ピースウォーク
- 14:00～15:30 キリスト者平和の祈り (日本キリスト教団 流川教会)
- 18:00～  
原爆犠牲者のためのスピリチュアルコンサート

## 8/9 日

- 「ながさき平和の日」
- 9:30～ 年間第19主日ミサ



2015平和行事ポスター

# 三末名譽司教 司教叙階30周年

三末名譽司教様は、二〇一五年六月十六日で司教叙階三十年を迎えられた。それを記念して六月七日(日)翠町教会で六月十四日(日)世界平和記念聖堂でそれぞれ感謝のミサとパーティーが多数の参列者によって行われた。司教様は、二〇一一年六月十三日に広島教区長を退任された後、住居を司教館から翠町教会に移された。現在、翠町教会の主日の一部のミサと金曜日のミサを担当されるなど、長年人工透析を受けながらもお元気で活躍されている。朝早く起床して、毎日のミサの前に広島教区のため、その他いろいろな方々のために祈りを捧げることが日課である。



世界平和記念聖堂の敷地にある広島カトリック会館玄関、祝賀パーティーの終わりに参加者で作った祝賀アーチを力強い足取りで進む三末名譽司教  
写真：飯国 清さん

三末名譽司教様、司教叙階三十周年を迎えて

翠町教会

信徒会長 吉川弘之

三末名譽司教様、司教叙階三十周年おめでとうございます。お元気で迎えにいられたことを、神様のお恵みであると本当に心からお慶び申しあげます。

翠町教会へお住まいになつて、早四年になりました。おかげさまで毎週のミサや時々勉強会も司教様

と楽しく笑いを交えて過ごすことは、翠町教会の信者だけが感じる贅沢ありません。たい時間であると深く感謝しております。

司教様は、「神様のお恵みと皆さんの祈りで生かされています」といつも言っておられます。毎週三回の人工透析もお疲れのようで、なるべくお邪魔しないよう静かに見守っておりますが、ミサの後などは信者のみなさんとお茶の時間がとても楽しそうで、ふくれまんじゅうなども好物で食べながらみなさんとお話をしておられます。いろいろな昔話やこぼれ話を楽しく話されるのを聴くのも私達の楽しみです。どうぞこれからも教区のため私達のために元気で日々お過ごしください。

## 報 告

### 「チエジユド平和巡礼 （歴史と国権に向き合う旅）」

ナミュール・ノートルダム修道女会

シスター三宅聖子

今年二月、韓国濟州島<sup>チエジユド</sup>へ十二名で三泊四日の平和巡礼をしました。祈りに満ちた心揺さぶられる巡礼の旅になりました。

人々の反対にも関わらずカンジョン村の海軍基地建

設は驚くほど進んでいます。毎日行われている「現場ミサ」がテントで捧げられ、私たちは閉鎖されたゲート前に、地元の人々や司祭・修道女と並んで静かに座りました。ミサが始まるとほぼ同時に放送が流れ、生コン車などが動き始め、若い男女警察官が前にずらりと立ちはだかりました。工事車両が過ぎれば元に戻って祈るといふ繰り返しの繰り返しです。穏やかな対応でしたが、そこに国家の意思が強行されていることは明白でした。この後、旧日本海軍航空隊基地跡や抗日記念館、四・三事件の虐殺現場と記念館を訪れました。ど

れも国家の名において、国家の力によって人々が虐げられ、命を奪われ、引き裂かれた歴史の現場です。今カンジョン村もその現場です。そして沖繩、辺野古や高江も。

最後に等身大の十字架の道行きを巡って、厳しい現実の中にあつてもあきらめず平和の道を歩むチエジユドの信仰を想いながら、カンジョンや沖繩の人たちと共に、広島教区の私たちも平和の道を歩むことができますように祈りました。



等身大の十字架の道行

# 山岡功典氏よしのり 助祭叙階式

五月三十一日(日)、十四時、駐日教皇庁大使 ジョセフ・チェノットウ大司教司式による山岡功典氏の助祭叙階式が広島カテドラル・幟町教会で行われました。

これまで何度かお知らせしてきた通り、特別なこととして叙階が認められたという事、また、教区長不在の広島教区である事を考慮し、教皇大使自らが希望をされて司式をしてください



床に伏す、山岡助祭、祭壇前中央は、ジョセフ・チェノットウ大司教

## 備後ブロック 研修会のご案内

「今を生きる」というテーマで、チャプレン・カウンスラーの沼野尚美先生による講演会を行います。

いました。

当日は日曜日の午後にもかかわらず、三百名位の方々が参列して下さり、この特別な出来事を見守ってくださいました。

山岡助祭のこれからの歩みをどうぞ皆様お祈りください。

## 名古屋教区に 松浦悟郎新司教着座



日時：九月十二日(土) 十九時から二十時  
場所：カトリック福山教会  
日時：九月十三日(日) 十時半～十二時  
場所：カトリック尾道教会

さる六月十三日(土)、

名古屋教区では、野村純一司教の後任として松浦悟郎司教(前大阪教区補佐司教)の着座式が行われた。式は、名古屋カテドラル聖ペトロ・パウロ大聖堂(名古屋市 布池教会)で行われ、駐日教皇庁大使 ジョセフ・チェノットウ大司教をはじめ多くの司教、司祭、信徒など、一三〇〇人が集まり着座を祝った。

## 広島教区の施設 学校法人 広島信望愛学園

### 聖母幼稚園

26

『聖母幼稚園』は、世界平和記念聖堂のお膝元にあります。

一九四一年四月に幟町カトリック教会の聖堂の一部屋を使用して聖母園が開設されました。愛宮ラサール神父様が「幼児の時からしっかりとした信仰教育が必要である。」と仰って、幼児教育を始められたそうです。

一九五〇年三月には、聖母幼稚園として認可を受けました。一九七八年にはモンテッソーリ教育法を導入し縦割り保育がスタートしました。一九九一年には創立五十周年を迎え、一九九三年学校法人広島信望愛学園聖母幼稚園になり、現在に至っています。

二〇〇九年からは未就園児クラスより進級という形で、満三歳児入園が開始しました。

二〇一二年には三代目の園舎と愛宮ラサール記念館、幼稚園ホールが落成して生まれ変わりました。

本園ではキリスト教の精神である愛の心に基づき、祈りの心、神の恵みを感じ取れる

教育、感謝と一致の心で仲良くできる相互愛を伝える教育を目指しています。その一助としてモンテッソーリ教育を取り入れていきます。

現在は園児数も少しずつ増えて国籍も様々な子ども達が、毎日鐘の音が響く環境で賑やかに、元気に生活しています。預かり保育は長期休みもしますので、子ども達が安心してのびのび遊んでいます。神様のお家(大聖堂)では毎月誕生会があり、クリスマスの聖劇、七五三も大好きなマリア様に見守られてお祝いします。聖母祭は卒園児も参加し、教会の方々も一緒に祈りの夜を過ごします。いつも神様を近くに感じて心を合わせ平和を創る子ども達を育てていく使命をお捧げしたいと思えます。



聖母幼稚園全景

**重要文化財 世界平和記念聖堂  
耐震改修事業の  
行政手続きが始まる**

来年度から事業着手を目指している重要文化財・世界平和記念聖堂の耐震改修事業について、六月二十四日（水）、広島カトリック会館・多目的ホールで文化庁調査官、広島県教育委員会、広島市の文化財担当者をして、今後の事業の進め方が話し合われた。



世界平和記念聖堂の天井裏の視察

会議では、二〇一三年度から二〇一四年度に実施した耐震診断調査の結果について、調査を担当した文化財建造物技術協会（文建協）の説明の後に、耐震補強や外壁、大屋根などの改修方法の確認を聖堂で行った。これにより構造補強と改

修工事の基本的な方向性が了承され、七月と十一月に予定されている予算化のための行政

手続きを進めることになった。なお、これまで文化庁の補助金は耐震事業として予算化を要望してきたが、今後は新たに創設された近代化遺産等保存修理事業として予算化することとなり、更なる補助金の増額が期待される。

現時点での事業費総額は、九億八千万円が見込まれている。の中には、旧式の重油ボイラーによる暖房設備の更新費用が追加された。今後、設備の更新を実施するかどうかも含め、事業費の精査が行われる予定である。また、工期は文化庁の予算との関係で二〇一六年度から三カ年となる見通し。工事中の聖堂使用については、施工会社が決定してからの調整事項であり、現時点では詳細は不明である。工事の安全管理の観点から、ミサなどの聖堂使用に一定の制約が出てくることは避けられない。極力、制約がないよう調整を行う予定。いずれに

しても不便は避けられず、ご理解とご協力が必要とされている。

今後、保存活用委員会で、各小教区に巡回訪問し、耐震改修事業の計画を説明する予定。信徒の皆様には、司教座聖堂の存在意義をご理解の上、一層のご支援をお願いいたします。また、記念聖堂は、平和を求める祈りの場として献堂されており、この崇高な目的に賛同した国内外の多くの市民のあたたかい支援のたまものです。この意味からも、聖堂を末永く保存、活用する責任が広島教区の私達にあります。これらの趣旨をご理解いただき、一層のご支援をお願いいたします。なお、下記口座で保存工事のための献金を受け付けています。ご支援いただければ幸いです。

**世界平和記念聖堂募金  
郵便振替口座**

口座名：カトリック広島司教区  
口座番号：01320-3-109791

\*通信欄に「聖堂保存献金」と記入してください。

**予備神学校  
召命のゆりかご**

広島教区のみなさん、こんにちは。呉教会の金神父です。

まず、この紙面を通して広島教区の予備神学校を紹介するきっかけをいただき、大変嬉しく思います。昨年、六月予備神学校が始まってもう一年が立ちました。今まで、広島教区の召命のために祈りと犠牲をもってともに歩んでくださった多くの方々から感謝を申し上げます。

現在、約二十名の男女小、中、高校生たちが二ヶ月に一回、一泊二日間「イエス様を中心にしてみんな教会の仲間になって」み言葉に触れる恵みの時間を過ごして



「床絵」を前に参加者全員で

います。勿論、神父様方やリーダーたちも学生たちとの時間を一所懸命準備しています。このように、神様に導かれ、マリア様に守られていけば第一号の予備神学校出身の大神学生が生まれることも夢ではないと思います。

わたしも予備神学校に関わりながら時々聞かれる質問があります。予備神学校って将来司祭やシスターになる人だけが入るのですか？という質問です。勿論、神学校というところはそもそも司祭を養成するところでありますが、広島教区ではこれをもっと幅広く理解し、受け入れていきます。つまり、「神学校」ということばを素直に「神様を学ぶ学校」として理解し、より多くの学生たちがが学業や部活などヒョッとしたら大人よりも忙しい生活の中でも、み言葉と秘跡を通して神様からの自分の召命をゆっくり考え、祈る時間を持つことを目標としています。もし、その中で司祭か修道者としての召し出しを受けた人がいれば、神様の呼びかけに答えて奉

献生活の道を歩むこともありえるし、別な召命に気づいた人も教会の将来のための大切な働き人になってくれるでしょう。

今、予備神学校の主な柱になっているのが、〈実践教理教育〉という教授法です。これは、ドイツのカトリック信徒であるフランツ・ケツトさんという方が創始したもので、土、石、木、布、糸、色などの自然材料を使って、ひとつの福音の場面やカテキズムを作って可視化し、たとえ聖書を知らない参加者でも好奇心を呼び起こしてすつと入れるように、みんながともに神様に触れる楽しい授業です。授業が終わっても、自分たちが完成した床絵をじっくりと眺めながら聖霊の響きを味わい、こころを改めることも実践教理の特徴だと思えます。

主に典礼歴に従って教案を準備しますが、第五回目は、肥塚神父様を招いて、〈津和野の殉教者のお話〉と〈突風を静めたイエス様〉、〈イエス様のみこころとは?〉というテーマのお勉強で盛り上がりまし

た。このように、青春時代に「本当に人生にあつて大切なものはどんなものであるのか、たとえ、人生の嵐が来た時でも頼りになる方ほどなたであるのか」など仲間たちとともに考えて祈る時間は参加者のだれにも掛け替えのない宝だと思います。

「収穫は多いが、働き手が少ない。だから、収穫のために働き手を送ってくださるように、収穫の主に願いなさい」(マタイ九・三十七-三十八)と主イエスは言われました。今、世界のどここの国でも召命に渴いていて多くの神学校や修道院、ミッシヨンスクールが門を閉めている厳しい時代であります。しかし、このように予備神学校を通して召命の切り口を開いてくださった神様に感謝し、見えるところで、見えないところでも支えてくださる多くの信徒のみなさんにもう一度感謝のお礼とともに、これからの霊的、物質的支援をよろしくお願いしたいと思います。みなさんの家庭に神様の豊かなお恵みがありますように。アーメン。

JICaRM広島便り  
外国人への司牧  
岡山南教会  
リカルド神父

旅をした時に宿を貸してくれました(マタイ二十五・三十五)

信者であるわたしたちは洗礼によって、イエスの弟子たちとなり、イエスの福音宣教にあずかる者となりました。全世界に行つて救いを宣べ伝え、すべての国の人々を弟子にし、かれらに洗礼を授けるようというイエスの命令は(マタイ二十八・十九-二十)、わたしたち一人ひとりに毎日新たに向けられています。なぜなら、信者は本来宣教師だからです。

さて、わたしは広島教区にあるフィリピン人の共同体の司牧のために来日しました。来日した時、まず岡山教会に住んでいました。岡山教会に属するフィリピン人の信者数に驚いただけではなく、初めてのミサの参加者が十人以下であったことにもがっかりし

ました。その時から、フィリピン人への司牧が容易ではないことが分かりました。

ヤコブの神を助けとする人は幸い。その人は自分の神、主に希望をかける(詩編百四十六・五)

人間関係を作ることは技巧のようなものです。なぜなら、人々の心を奪うには時間だけではなく創造力も必要だからです。岡山教会に住んでいた時に、まず、時間を割き教会に通っていたフィリピン人たちの日々の悩み、失敗、成功などを聞くことにしました。人生がうまく進まない、がっかりするのが、当然かもしれないませんが、神がこうした中でもわたしたち一人ひとりを愛してくださり、神がともに歩んでくださるという自覚が、希望と力の源泉です。また、神の愛といつくしみが限りないと言いつつ、彼らを励まそうとしていました。わたしのフィリピン人の共同体との歩みは、わたしにとって、信頼と希望への歩みでした。な

ぜなら、その人の中には、教会に通い始めたばかりの人でも何らかの理由で共同体に受け入れられていないと思っていた人もいたからです。

教会がいつも誰でもが歓迎され、愛されて赦されるあわれみと希望の場となりますように(フランシスコ教皇様)

時間が経つにつれて彼らが持つていたあまり良くない教会の印象も変わってきたことと、神の恵みによって、大勢の人が聖なるミサなど教会行事にあずかるようになりました。研修会や黙想会などをとおして、彼らの様々な疑問と疑いにイエスの希望の光がもたらされたのでしよう。

JICaRMの代表である荻神父をはじめ、広島教区で働いておられる司祭たちと信徒の皆様のご指導とご協力をいただいて、心から感謝します。

神に栄光がありますように。

地区便り

山口島根地区

\*地区少年の集い

八月三日(月)～六日(木)にかけて「日韓学生交流会」を開催する予定だったが、韓国国内でのMERS流行に伴い延期に。

\*地区養成

①林神父による「社会教説学習会」の各小教区日程については、それぞれ通知済み。七月十八日(土)～十九日(日)には、下関労働教育センターにおいて宿泊研修が行われた。

②九月二十一日(月・祝日)十時～十五時半まで「典礼研修会」。講師は、具正謙神父(イエズス会)。場所は山口天使幼稚園二階ホール。参加費五百円で昼食は持参。

\*地区全体への呼びかけ

「奉献生活の年」を記念して、八月三十一日(月)に地区修女連主催の「講演会」を山口天使幼稚園二階ホールで開催する。講師は、菅原神父(イエズス会)。時間は十三時～十六時。

時まで。

また、十月十八日(日)、世界宣教の日)に予定していた「地区大会」は取りやめに。

\*被災地支援活動

八月十三日(木)～十七日(月)、福島原発で不安を感じている親子を招き、宇部小野田ブロックとの交流「ふっこうのかけ橋」開催。秋吉台や海での遊び、納涼会など。

八月二十四日(月)～二十九日(土)、「被災地夏季ボランティア」(カリタス大槌ベース)。

岡山鳥取地区

\*地区宣教司牧評議会開催

五月十七日(日)津山教会で第一回地区宣教司牧評議会が開かれました。

信徒会館改築という取り組みのなかで信徒が活性化している「玉島教会のチャレンジ」という基調報告をもとに、高齢化する教会の運営と次世代の育成などを分かち合いました。また、これらの課題に地区としても取り組むために、評議会において具体的な施策の協

議が必要という提案が出されました。

\*地区平和推進チーム

教区平和年に、地区全体の取り組みとして年三回の平和ミサを企画しました。

第一回目は四月十二日(日)米子教会にて平和ミサを捧げ、荻神父による「戦後七十年司教団メッセージ」平和を実現する人は幸い」の解説と、鳥取空襲や岡山空襲の歴史を学びました。また、大山口駅空襲犠牲者の慰霊碑を訪れて祈りを捧げ、非戦の誓いを新たにしました。

第二回目は七月五日(日)玉野教会で三末名司教のミサと「聖ヨハネ・パウロ二世の平和の呼びかけ」に



終始笑いの絶えない三末名司教のお話

海峡からの風 37

下関労働教育センターだより

●「現在の憲法を、いかにこの法案に適應させていけばいいのか、という議論を踏まえて閣議決定を行なった。」この衝撃的な発言は今年六月五日の衆院安全法制特別委員会で、中谷防衛大臣から発せられました。

●立憲主義では、憲法の規範に沿って法案をつくり審議しなければなりません。ところが成立させたい法案に憲法を適應させることを閣議で決めたと言っているのです。これでは立憲主義と真逆の行為です。だから、無理な憲法解釈になり辻褄が合わないのです。●無理だからこそ、衆議院憲法審査会で与党から推薦された長谷部教授を含む三人の憲法学者がいずれも、集団的自衛権の行使を含む「平和安全法案」を違憲と断定したのです。六月三日には、憲法学者を含む多くの学者が「安保関連法案に反対し、そのすみやかな廃案を求め

る憲法研究者の声明」を発

表しました。●慌てた安倍首相はG7首脳会議が開催されているドイツで「憲法違反ではないと確信している」と反論しましたが、私的に「確信」しても、「違憲」であることは覆せません。自民党の高村副総裁は「学者の言う通りにしたら日本の平和が保たれたか極めて疑わしい」と反論しました。●しかし日本は政治家の言う通りにしたらからアジア侵略から太平洋戦争に至り、沖繩・広島・長崎に多大の被害がもたらされたのでした。

●礪崎内閣総理大臣補佐官はツイッターで「火事」と「戦争」を同列に扱い集団的自衛権を説明したところ、十代の若者に「火事は消火すれば解決する。殺し合いは必要ない。戦争は違うよね? 殺し合って何万人何十万人何百万人が死んでくんだよ。それに日本が加担するってことだよ。」と一喝されました。

(廣崎リュウ)



えて」と題して講演会が行われ、教皇様の思いやバチカンでの教皇謁見などについてお話になりました。

第三回目は八月五日(水)世界平和記念聖堂での「平和のための祈りの集い」に岡山と鳥取からバス巡礼を行う予定です。

**広島地区**

**\*平和推進チーム**

●「平和年」(二〇一四年八月六日～二〇一五年八月六日)の一年間、広島地区では、毎月六日を「平和の日」とし、集まりを続けてきました。

七月六日(月)は十時の「平和祈願ミサ」の後、円鏝勝三さんの彫刻(世界平和記念聖堂正面欄間・七つの秘跡/広島平和記念公園内)をめぐる、祈りと巡礼を行いました。

八月六日(木)、平和行事で終了します。(担当:肥塚倅司神父)

●七月五日(日)「憲法学習会/基本原理から考える憲法(講師:棟大樹弁護士)」と、Sr.山本を囲んでの分かち合いが開催されま

した。

**\*養成推進チーム(信徒の霊性委員会)**

●「(信徒のための)『霊操』セミナー」イエズス会黙想の教本『霊操』を、信徒のために分かりやすくした特別なカリキュラムで、二年間八回開催します。

第一回 四月二十五日(土)

第二回 七月二十五日(土)

第三回 十月二十四日(土)

第四回 一月二十三日(土)

第五回 八回 未定

指導:塩谷恵策神父(イエズス会・西日本霊性センター代表)

場所:観音町教会

時間:十時～十六時

**●マリッジエンカウンター**

夫婦の関わりを深めていくための方法を体験的に身につける二泊三日のプロگرامです。

夫婦だけでなく、人々との関わりを深めたいと思っている司祭、修道者も参加できます。

日時:十月十日(土)二十

時～十二日(月・祝)

十八時

場所:福山暁の星学院研修

センター

対象:夫婦(結婚年数、信

者未信者を問わない)、司祭、修道者

申し込み・お問い合わせ:

(福山教会) 富山 084-

962-1295 高森 084-

952-1861 / (山口教会)

瀬川 083-923-1894

●家族大会開催のお知らせ

日時:十一月十五日(日)

十時

場所:祇園教会

テーマ:「十信仰くやっぱ

り家庭から」

対象者:教会の子どもに関

わる全ての信徒と子ども

主催:家族大会実行委員会

詳細は案内文を!

●一日静修会『マザーテレ

サからの贈り物』とお話と

ミサ

日時:十一月二十三日(月

/祝) 十時～十六時

場所:福山暁の星学院研修

センター

講師:片柳弘史神父様(宇

部教会主任 イエズス

会)

主催:マリーテレーズ会

お問い合わせ:田中(福山

教会) 084-928-6875

●予備神学校

期間:九月十九日(土)～

二十日(日)

場所:愛宮ラサール記念館

**伯雲ブロック**

**\*Sr.カルメン誓願五十周年**

五月三十一日(日)に、

イエズス孝女会のSr.カルメ

ン・セゴビアの誓願五十周

年の喜びが松江教会と伯雲

ブロック共同体で祝われま

した。

ミサの中でシスターの誓

願更新が行われましたが、

その姿は、自分を全て捧げ

尽くす奉獻生活の招きに応

える者の生き方を、我々に

示してくださいました。

ミサ後はフイリピン共同

体が中心となり、温かな雰

囲気の中で祝賀会が行われ

ました。アメリカからお姉

様も参列、教職を務められ



Sr.カルメン 松江教会

**本の紹介**



片柳弘史神父 著  
出版社:PHP研究所



世界で一番たいせつなあなたへ  
マザー・テレサからの贈り物

イエズス会の片柳神父から、マザー・テレサの言葉を大切に受け止め、その「大切なあなたへ・・・」というメッセージを自らの言葉で綴った本が出版されています。

シスターはこの後山陰を離れ、派遣された任地へと向かわれます。神様と人々のため、愛をこめて務めてくださったシスターに心からの感謝と聖母マリア様の御助けを祈り、また御身体を健康を願いながら、主の深い慈しみの中で一日でした。

# 青少年の活動

## カトリック広島司教区

### 青少年情報センター便り

こんにちは！今年度から「カトリック広島司教区青少年情報センター」（以下、情報センター）の職員

になりました、エリザベト音楽大学三年生の石井美咲です。「今日も笑顔で！」をモットーに、担当者の大西助祭と一緒に働いています。

情報センターは、幟町教会内に隣接する広島司教区愛宮ラサール記念館一階にあります。広島教区内や全



「先進国での宣教活動」

主の平和。

私は金起煥と申します。一九八二年に生



国の青少年対象の行事のお知らせ、及び行事の企画、支援をしています。また、

青年が仕事終わりや学校の空き時間などに、ちよこつと寄りたくなるような場所として賑わっています。（毎日誰かはいるようです。）



レトルトスパゲッティ倶楽部

幟町教会 金起煥 神父

まれ、大邱大司教区で二〇一〇年に司祭に叙階されました。日本に来たのは今年の一月ですから、半年が経つところです。

昔から考えていた宣教活動について簡単に書きたいと思います。

私は先進国での宣教活動

最近では、教会を盛り上げていこうという青年たちの声を拾って、レトルトスパゲッティ倶楽部（情報センターのスタッフがレトルトスパゲッティを作り、みんなで食べながら分かち合う）を開きました。毎回十

人程度が集まって盛況です。これからも試行錯誤しながら続けていきたいと思っています。興味がある方は是非ご連絡ください！

年間の行事としては、五月に行った「KIYO海の家クリーン大作戦」（参加者約二十名）、六月には「三末司教叙階三十周年記念祝賀会」のサポートと出

に興味がありました。私がいいた大邱教区はいろいろな国に宣教者を派遣しています。その多くは発展途上国です。発展途上国の宣教活動は、インフラ整備を兼ねることがあります。しかし、先進国の場合はインフラ整備の必要はないため、かえって宣教が難しいという側面があります。

日本の宣教は純粹に人と神様との関係のために御言

祈ります。



KIYO海の家（山口県萩市）クリーン大作戦の様子

し物、八月にある「平和行事」、十一月の「広島教区練成青年大会」、三月には「中国ブロックカトリック高校生大会」など、様々な行事があります。これらの行事葉と愛を伝える魅力があります。

日本に来て信者さんと関わる中で、皆さんの信仰生活も同じ様子だと感じました。他の理由ではなく、神様に向かう純粹な信仰を尊敬しています。私も皆様に習ってそのような信仰者になりたいです。お祈りください。私も皆様のためにお祈りします。



の情報は、随時、各地区から小教区に発信します。是非ご参加ください。また、情報センターのホームページも随時アップしてありますので、是非ご覧ください。

これからも皆さんと一緒に、楽しく盛り上げていきたいと思っていますので、応援とお祈りよろしくお願います！

梅雨が明けると、子ども達が待っていた夏休みです。皆どんな思い出ができるのでしょうか？私は広島で生まれ育ちました。夏休みには原爆の話が載っていました。被爆者の方のお話もたくさん聞いてきました。教会ではフォーレのレクイエムが流れ、暑い中とても静かな時を過ごしたように思います。今年是被爆七十年。今度は私が子ども達に伝えていかななくては…と強い使命を感じています。（よ）